

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府漁業振興基金

{ 1 }

成果測定指標	単位	R6年度目標値	R6年度実績値	目標値との差
種苗生産コスト	千円	50,000	52,429	△2,429

未達成の要因					要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応
①	修繕費の増加				取水ポンプやブローア等で、予期せぬ故障、不具合が発生したため、1,148千円の修繕費が発生した。					<p>今回の修繕した設備は、現在問題なく稼働している。 その他の設備も含め、計画的に保守・点検を実施しすることで、引き続き、各年度に要するコストの平準化を図っていく。</p>
	関連項目名	修繕費	単位	千円	R6当初想定値	0	R6実績値	1,148	差	
②	燃料費の増加				<p>飼育海水の加温のためのボイラーで使用する重油代について、令和5年度と同等の1,620千円程度を見込んでいたが、令和6年度は3,040千円と約1,420千円増加した。</p> <p>[要因]</p> <p>・令和6年度からヒラメ種苗を、当栽培センターで生産したキジハタ稚魚との等価交換により入手している。令和5年度までは5cmサイズの種苗を購入していたが、令和6年度は等価交換先の条件により3cmの種苗しか入手できず、成育促進のため海水加温が必要となったため、重油使用量が増加した。</p>					<p>全体の費用抑制に繋がるため、ヒラメ種苗は等価交換による調達方法を継続するものの、現在の契約相手以外で追加の燃料費が発生しない種苗入手ができないか検討していく。</p>
	関連項目名	燃料費	単位	千円	R6当初想定値	1,620	R6実績値	3,040	差	

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府漁業振興基金

{ 2 }

成果測定指標	単位	R6年度目標値	R6年度実績値	目標値との差
管理費	千円	26,500	28,052	△1,552

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	人件費の増加			人件費（給与手当、福利厚生費）について、R6年度は約21,118千円（R5年度より4,300千円増）を見込んでいたが、府の給与改定もあり、約22,270千円となり、想定より約1,152千円増加した。						引き続き、計画的な業務執行による残業の抑制など、人件費の抑制に取り組むとともに、光熱費等その他事務経費の削減に努める。
	関連項目名	人件費	単位	千円	R6当初想定値	21,118	R6実績値	22,270	差	